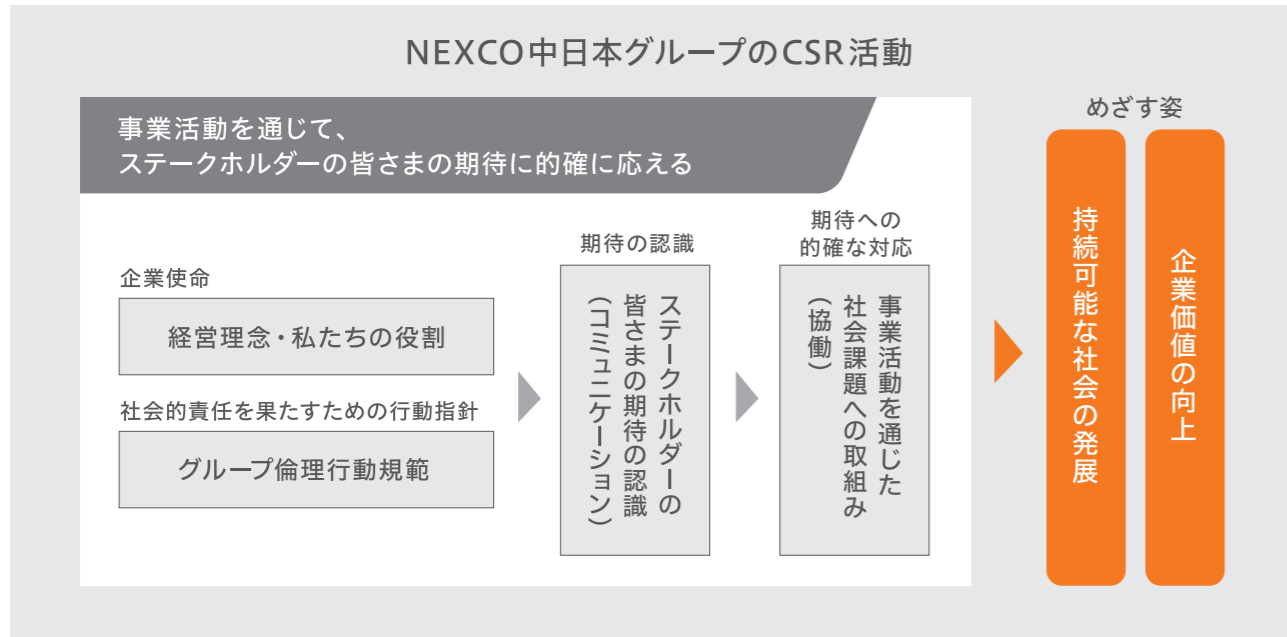


NEXCO中日本グループのCSR

高速道路事業をはじめとする私たちの事業活動を通じて、ステークホルダーの皆さまの期待に的確に応えていくことが、当社グループのCSR活動です。

私たちは、ステークホルダーの皆さまとの対話と協働のもと、事業活動を通じて社会課題に取り組むことで、持続可能な社会の発展と企業価値の向上をめざします。



CSR推進体制

当社グループは、経営トップをメンバーとする経営会議を設置し、経営施策とCSRを一体的に審議することで戦略的にCSRを推進する体制を整えています。

CSR活動の課題や重点テーマを特定し、各施策の達成状況を重要業績評価指標 (KPI) によって把握することで、PDCAサイクルを回しながらCSR活動を推進しています。

また、国連グローバル・コンパクトが提唱する「人権・労働・環境・腐敗防止」の4分野からなる10原則に賛同し、2008年7月からグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) に参加しています。



当社は、2015年9月の国連サミットで採択された17の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を支持し、高速道路事業をはじめとする事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組むことで、世界の持続可能な発展をめざします。

CSR活動の重点テーマ

ステークホルダーの皆さまからの期待を社会・環境・ガバナンスの3つの側面で「重点テーマ」として特定しています。この「重点テーマ」を確実に経営計画に反映し、CSRと事業活動を一元的に推進することで、社会的課題と向き合い課題解決に貢献します。また、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、CSR活動の推進を通じて寄与していきます。

| CSR活動の重点テーマ | | SDGsとのつながり |
|-------------|---|-------------------|
| 社会 | 安全・安心で持続可能な社会基盤の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・質が高く信頼できる強靱な道路インフラの実現 ・自然災害に対する強靱性及び適応力の強化 ・技術開発の促進、技術革新への対応 ・高齢者、障がい者、女性、子どもなどのニーズへの配慮 ・老朽化への対応、構造物の安全性向上 ・道路インフラの効率的な活用 ・交通事故による死傷者削減 ・維持管理ノウハウの高速道路外での活用 | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 社会 | 持続可能な都市や地域コミュニティの発展への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・都市や地域の良好なつながりの支援 ・地域の産業活性化、観光活性化の支援 | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 環境 | 地球温暖化の抑制と地域環境への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の抑制 ・資源の3Rの推進 ・地域環境への配慮 | 13 気候変動に具体的な対策を |
| ガバナンス | 社会から信頼されるガバナンス・内部統制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・高い倫理観に根ざした企業文化の醸成 ・事業運営の透明性、効率性の向上 ・社会的要請への適切な対応 | |

社会貢献の取り組み

当社グループは、地域イベントの参加や環境コミュニケーション活動などを通じ、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。グループ社員が参加するボランティア活動は2011年度から実施し、人手不足に直面している農山村の課題解決、活性化に地域住民とともに取り組んでいます。2017年度は、4県7地区で延べ400人のグループ社員が参加しました。また、地域社会の一員として、就労体験や現場見学、安全講習会などを通じて、次世代を担う学生や子供たちに高速道路の役割や交通安全を学ぶ機会を提供しています。



保育園児の車両見学会

2017年度 社会貢献活動参加人数 **15,000人・日**

TOPICS 「SDGs」の浸透をめざして

当社では、CSRの基本的な考え方や最新の動向について理解を深め、社員一人ひとりへのCSRの更なる浸透を目的に社内研修を実施しています。2017年度からは、国内の企業や行政、教育現場において急速に普及している「SDGs」について取り上げ、当社グループが取り組むCSR活動の重点テーマと「SDGs」との関係性を説明するなど、社内研修の充実を図るとともにCSRの浸透に努めています。

社員研修の様子